

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		隅田川浄化と水辺観察				所管	環境清掃部 環境課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	124	計画事業名	隅田川浄化と水辺観察			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり							[事業開始] 昭和53年度 [終了予定] - 年度	
		[小 柱] (3)地域で進める環境行動の支援								
		[施 策] ①自然共生の推進								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	環境基本法、水質汚濁防止法等					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区内の貴重な水辺空間であり、憩いの場として親しまれてきた隅田川の水質調査や水生生物調査により現状を把握し、流域自治体と連携し水質浄化や水辺環境の改善を推進する。また、ハゼ釣りや水辺観察等を通して、隅田川浄化と水辺環境への区民意識の啓発を図る。								
事業内容 [29年度]	①水質分析:年9回(BOD(生物学的酸素要求量)/DO(溶存酸素)/pH(水素イオン濃度)等)、水生生物調査:隔年 ②啓発小冊子の発行 ③流域自治体で隅田川水系浄化対策連絡協議会を設置し、広域で水質浄化を推進 ④区民参加によるハゼ釣りや水辺観察等を実施									
委託の有無	一部委託		委託内容	調査業務、分析等の高度な専門性が必要な事項について委託						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	ハゼ釣りや水辺観察実施回数		回	1	1	1	1	1	100.0%
		水質調査及び水生生物調査		-	水質9	水質9	水質9、水生生物2	水質9	水質9	-
	成果指標	ハゼ釣りや水辺観察参加者数		人	500	467	393	415	500	83.0%
		水質環境基準の達成状況		-	達成	DO以外達成	DO以外達成	DO以外達成	達成	-
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				1,660		3,035		1,267
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				6,416		7,134		6,704
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				1,652		3,028		1,260
		総経費				8		8		8
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源(区負担額)				8,076		10,170		7,972	
前回評価から29年度に改善した事項	水質分析について、精度管理の必要性の精査や仕様書の見直しを行った。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	隅田川は区民や観光客等、多くの方々が訪れている場所である。水環境を把握するため、継続的な水質分析が必要である。また、「ハゼ釣りや水辺観察」は隅田川を身近に体感できるイベントとして、区民の恒例行事になっている。							
	効率性	3	ハゼ釣りや水辺観察においては、ボランティアと協働し、イベントの効率的な運営を行っている。							
	手段の適切性	3	水質調査及び水生生物調査は、資格や高度な技術とノウハウ等が必要なものであり、測定機器が高価であることから委託により行っている。検査項目等については、水環境を適切に把握できるよう、今後も検討を行う。							
	目的達成度	3	隅田川の水質は、夏期にDO(溶存酸素)が低くなる傾向にあり、環境基準以下となることがある。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
夏場のDOについては依然として低くなる傾向があるが、事業については、計画的に滞りなく実施することができた。今後も水質改善のために流域自治体と連携し、合同水質調査や情報交換等を実施していく。また、調査を継続する中で課題を見つけ、今後も浄化対策を推進する。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		